



平成 26年10月 30日

各 位

会 社 名 **アンリツ株式会社**

代表者名 代表取締役社長 橋本 裕一  
(コード番号 6754 東証第一部)

問合せ先 執行役員 (広報分担) 永田 修  
(TEL 046 - 296 - 6507)

### 平成27年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年10月30日開催の取締役会において、平成26年 4 月24日に開示した平成27年 3 月期の業績予想を次のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 平成27年 3 月期通期連結 業績予想数値の修正 (IFRS・平成26年 4 月 1 日 ~ 平成27年 3 月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的 1 株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成26年 4 月24日 発表)	109,000	16,000	16,000	11,000	11,000	76.75
今回修正予想 (B)	104,500	14,100	14,200	9,500	9,500	66.29
増減額 (B-A)	△ 4,500	△ 1,900	△ 1,800	△ 1,500	△ 1,500	—
増減率 (%)	△ 4.1	△ 11.9	△ 11.3	△ 13.6	△ 13.6	—
(参考) 前期実績 (平成26年 3 月期)	101,853	14,123	14,239	9,318	9,305	64.93

#### 2. 修正の理由

計測事業は、モバイル市場向け開発用計測器の需要トレンドには変化なく、下期も強い需要を想定しています。一方、モバイル製造市場およびネットワーク・インフラ市場、エレクトロニクス市場の受注水準が当初の想定を下回る見込みです。ついては売上収益を下方修正し、営業利益についても前年度実績同水準に下方修正します。

産業機械事業については、上期の日本市場の停滞を織り込んで、売上収益・営業利益共に下方修正します。

税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、営業利益の修正、為替差益の計上による金融収益の改善等を織り込んで修正しております。

なお、配当につきましては、期初計画どおり 1 株当たり年間24.00円を予定しております。

(参考)

事業別売上収益の予想（平成27年3月期通期連結）

(単位:百万円、%)

	前回発表予想 (A) <small>(平成26年4月24日発表)</small>	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績
売上収益	109,000	104,500	△4,500	△ 4.1	101,853
計測	81,500	78,500	△3,000	△ 3.7	75,962
産業機械	18,000	16,500	△1,500	△ 8.3	16,919
その他	9,500	9,500	-	-	8,970

(参考) 想定為替レート（第3, 4四半期）：1米ドル=100円

事業別営業利益の予想（平成27年3月期通期連結）

(単位:百万円、%)

	前回発表予想 (A) <small>(平成26年4月24日発表)</small>	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績
営業利益	16,000	14,100	△1,900	△ 11.9	14,123
計測	14,500	13,000	△1,500	△ 10.3	13,011
産業機械	1,300	900	△400	△ 30.8	1,208
その他	200	200	-	-	△ 96

(注1) 「その他」には、セグメント情報における「その他」と「調整額」を合わせて表示しております。

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。